

実施報告書【STEAM教育推進校用】

学校番号	13
学校名	富山県立富山中部高等学校

重点課題	「新しい社会を共創し、未来の日本と世界をリードしていく人の育成」を目指す探究的・科学的思考力を高めるための教科横断的な学習の推進	
課題設定の趣旨	本校では、スクールポリシーで「新しい社会を共創し、未来の日本と世界をリードしていく人を育成する」ことを掲げている。変化の大きな社会に生じる多様な課題の解決には、文理や教科など既存の枠組みにとらわれない多面的なものの見方や柔軟な思考、他者と協働的に課題に向き合う姿勢が必要になる。そうした資質や素養を育むため、教科横断的な学びのプログラムを開発するとともに、産・官・学との連携を強化し、多様な立場の人や組織と関わる機会を提供していきたいと考える。また、多方面に進学した卒業生や職業人の話を聞いたり、企業見学を行ったりすることで、生徒の視野を広げるとともに将来のビジョンを持たせ、高校での学びのあり方を考えさせる契機としたい。 なお、こうした取組の成果については、報告書や成果発表会などを通して他校にも普及を図り、STEAM教育推進の拠点校としての役割も果たすこととする。	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科横断的な学びを推進するためのプログラム開発、カリキュラムマネジメントの充実</li> <li>・幅広い教養や協働力を身につけ、課題に柔軟に向き合う姿勢を培うための外部連携推進</li> <li>・科学的思考の基礎となるデータサイエンスの利活用能力向上</li> <li>・新しい社会を共創する基礎となる探究力、およびその評価方法の見直し</li> </ul>	
実施内容 (具体的に記入する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科横断的な学びのプログラム開発 先進的な取組を行っている福井県立武生高校から講師を招き、他校の教員の参加も呼びかける形で研修会を実施した。また実際に複数教科が連携した授業を行った。授業は公開し、本校教員の研修にも資するものとした。</li> <li>・産・官・学との連携 2学年の「SS探究Ⅱ」における課題研究で、各ホームの研究テーマに即した講師を自治体や企業から招き、講演や探究活動へのアドバイスをしていた。また、例年通り、「発展探究」の課題研究指導や「SS講演会」「人文社会講演会」、教員向けの研修会等では大学との連携を図っている。</li> <li>・進路意識の高揚を図る行事 2年生の「大学探訪」では卒業生の話を聞いたり、企業見学を行ったりした。また、「進路講演会」では各分野で活躍している社会人の方々を招聘し、講演をいただいた。大学生の話を聞いたり、大学に合格したばかりの卒業生を招いて受験体験談を聞いたりする機会も設けた。</li> </ul>	
取組の成果 (STEAM教育推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部連携の機会を多く設けることで、既存の授業の枠組みを超えた知見を得ることができた。多様な分野への興味関心を持つことができ、また、さまざまな角度から課題を捉える姿勢を養うことができた。</li> <li>・普通科における探究活動を充実させることによって、学校全体の探究力や科学的思考力の底上げを図ることができた。</li> <li>・国語と美術の教科横断授業では、Artの視点を活かして評論の内容を理解することができた。教員もその効果を実感し、今後の取組に向けて意欲が高まった。</li> <li>・卒業生や職業人の話を聴くことで、学校生活の外にも視野を広げるとともに、自らの将来像を具体的に思い描くことができた。また、将来につながるものとして、日々の学習や諸活動へのモチベーションを高めることができた。</li> </ul>	
対象者(学年・人数など)	1年生241名(普通科160名、探究科学科81名) 2年生278名(普通科199名、探究科学科79名)	
実施実績	4月	①2学年「SS探究Ⅱ」課題研究テーマ別指導2名
	5月	②2学年「SS探究Ⅱ」課題研究テーマ別指導1名 ③2学年人文社会講演会
	6月	④2学年「SS探究Ⅱ」課題研究テーマ別指導1名
	7月	
	8月	⑤2学年大学探訪
	9月	⑥2学年「SS探究Ⅱ」課題研究テーマ別指導2名 ⑦1～3学年東大生と語る会 ⑧1学年進路講演会12名
	10月	⑨2学年「SS探究Ⅱ」課題研究テーマ別指導1名
	11月	
	12月	
	1月	⑩1学年「SS探究Ⅰ」2学年「SS探究Ⅱ」講演会1名 ⑪2年人文社会科学科「発展探究」課題研究発表会
	2月	
	3月	⑫卒業生と語る会 ⑬進学探究講座代替行事3名